

滝沢市委託型地域包括支援センター業務の評価について

1 趣旨

少子高齢化社会が進展する中、より細やかな高齢者の支援体制を構築し、地域包括ケアの進展を図るため、令和 3 年度から担当圏域を北部・中部・南部の 3 つの圏域に分け、圏域ごとに地域包括支援センターを設置し運営しており、滝沢市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の第 9 期計画期間である令和 6 ～ 8 年度の期間は、北部圏域を松実会地域包括支援センターに、南部圏域を滝沢南地域包括支援センターに運営業務を委託しているところであり、各センターの第 9 期計画期間内の業務実施状況をまとめ、評価した内容を報告するものである。

2 概要

各地域包括支援センターに委託している運営業務において、業務委託契約により定めている人員体制及び業務内容について、別添資料のとおり報告する。

- (1) 令和 7 年度松実会地域包括支援センター事業実績
- (2) 令和 7 年度滝沢南地域包括支援センター事業実績
- (3) 令和 6 ～ 7 年度委託型地域包括支援センターの人員配置状況及び各業務の内容、計画値・実績値

令和7年度 松実会地域包括支援センター事業実績報告

1 総合相談支援、権利擁護

○受付形態（延件数 件）

来所	97
電話	458
訪問	553
FAX	0
メール	0
その他	11
合計	1119

○相談者（延人数 件）

本人	614
家族・親族	191
地域住民	9
ケアマネジャー	108
民生委員	62
警察	8
行政職員	24
医療機関	42
社会福祉協議会	7
介護サービス事業所	27
地域包括支援センター	13
その他	14
合計	1119

○受付分類（重複あり 延件数）

介護保険サービス	391
医療相談	95
うつ、ひきこもり等精神相談	44
認知症相談	90
虐待相談	18
権利擁護	22
介護予防、保健相談	3
成年後見制度相談	10
生活支援	138
ケアマネ支援 ※1	10
実態把握 ※2	436
住宅改修	0
福祉用具相談	0
救急キット	0
緊急通報装置	1
免許返納要望書	1
その他	118
合計	1377

○消費者被害への対応 231 世帯 255 人（安全安心協力センター「声かけ活動」報告件数）

○評価及び次年度の方向性

総合相談の件数について、前年度と比較すると令和6年度1,156件に対して今年度1,119件と件の37件の減であった。

受付形態別にみると「来所」は令和6年度84件に対して今年度97件、「電話相談」は476件に対して458件、「訪問」は585件に対して553件となっている。実働の回数としては増えている体感ではあるが、1件の帳票に対して対応に目途がつくまで経過を記録していったため減少となった背景がある。そのため、経年の比較は難しいが大きな件数の変化はないと言える。

相談者別にみると「ケアマネジャー」「介護サービス事業所」「行政」からの相談や情報提供が増加しており、特にケアマネジャーからの相談がR6年度62件に対して今年度108件と大幅に増加。ケアマネジャーからの相談のうち「生活支援」が多く、特に生活困窮や債務関係の相談が増えている。また、「その他」については66件から118件となっており「情報提供しておきたい」「同居の子供について」「安否確認」等の相談が増加。特に子供や孫世代に関する相談も入ってくることから、関係各所との連携を円滑にしていく必要がある。「介護サービス」は、開所後の5年間のうちR6年度474件が最多で、今年度は391件と83件の減少となっている。

実態把握訪問の際に、消費者被害に係る電話や訪問等がないか確認し、注意喚起の声をかけながら県警からのチラシ配布に努めた。今年度からカウントの方法が変更となっており、世帯数と人数に大きな差がない。また、特殊詐欺被害者の相談への対応があり、早期から被害者へ支援の必要性を感じた。当該の活動は予防活動として、次年度も引き続き実施していく。

2 包括的・継続的ケアマネジメント

○主催 （北部圏域ネットワーク会議、ケアマネ情報交換会等）

会議・研修名	日時	場所	内容	参加人数
第1回滝沢市北部地域ネットワーク会議	7月16日	葉の木沢山活動センター	関係機関との情報交換 特殊詐欺被害の傾向と対策	22名
第2回滝沢市北部地域ネットワーク会議	11月19日	葉の木沢山活動センター	私の生き方ノートの書き方 と活用について	19名
北部圏域居宅介護支援事業所情報交換会	2月3日	葉の木沢山活動センター	ケアマネ業務の内容、厚労 省の情報提供等	9名
介護予防支援及び介護予防ケアマネジメントに係る研修	3月3日	ケアハウス巣子	新規採用職員に対する標記 研修の実施	1名

○参加

会議・研修名	日時	場所	内容	参加者名
介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメント業務委託事業所連絡会議	4月16日	市役所	令和6年度業務委託実績 令和7年度業務委託について	高橋 加藤
滝沢市地域ネットワーク会議	4月23日	ビッグルーフ滝沢	市内事業所の情報交換等	高橋 菫澤 加藤
第1回滝沢市内居宅介護支援事業所等情報交換会	7月31日	市役所	情報交換、事例検討	菫澤 鈴木
滝沢市地域ネットワーク会議	10月22日	市役所	研修会、行政説明、情報提供	高橋 菫澤
第2回市内居宅介護支援事業所情報交換会	3月5日	滝沢市社会福祉協議会	滝沢市の地域課題について 意見交換	菫澤

○評価及び次年度の方向性

主催の地域ネットワーク会議については、1回目は盛岡西警察署生活安全課より特殊詐欺の傾向と対策について講義いただき、参加者から活発に質問が挙がり関心が高かった。2回目は市包括から発行した「わたしの生き方ノート」の使い方や活用方法について担当保健師と在宅医療介護連携コーディネーターへ講師を依頼した。引き続き参加者の実情に合ったテーマを企画し、事例検討や意見交換を重ねながらネットワーク構築を有効的なものにしていきたい。

居宅介護支援事業所情報交換会については、北部圏域にある全5事業所から参加いただき、介護支援専門員のシャドーワークについて参加者から現状を聞き、対応について工夫していること等を共有した。引き続き情報交換を行いながら共に良い支援に繋げたい。

3 地域ケア会議

○主催 （地域ケア個別会議Ⅰ）

日時	場所	内容	参加人数
6月18日	葉の木沢山活動センター	『痛みによってADL（日常生活動作）が著しく変化するケース』について	20名
10月15日	葉の木沢山活動センター	『親族がおらず夫婦ともに介護が必要な世帯の長期支援』について	12名

○主催 （地域ケア個別会議Ⅲ） 実績なし

○参加 （地域ケア個別会議Ⅱ）

日時	場所	内容	参加者名
5月21日	市役所	「がんの治療選択や副作用反応に関すること、緩和ケアに関する事」	菫澤
7月23日	市役所	事例検討会「本人の能力や強みを活かせる支援について」	加藤
9月29日	滝沢ふるさと交流館	「私の生き方ノート書き方講座」	高橋
11月5日	市役所	「前頭側頭型認知症を理解する」	田中
2月4日	市役所	「認知症本人同士の語り合いから見たもの ～本人ミーティングを通して～」	鈴木
3月11日	市役所	事例検討会「医療介護連携に関する事例」	工藤

○抽出された地域課題

地域ケア個別会議Ⅰでは「体調が日々変わる方の支援」、「親族がいない世帯の支援」等の地域課題が抽出された。地域ケア個別会議Ⅲは、今年度は開催がなかった。介護認定は軽度でも病気によって体調が大きく変わるかたの支援や親族、身寄りのない方に介護サービスだけではなく地域資源や地域活動に繋げるための手立て等が課題となった。

○評価及び次年度の方向性

個別会議Ⅰは、例年通り2回の開催であった。昨年度からオブザーバーとして市内居宅の主任ケアマネジャーに参加して頂き、2年目という事もあり活発な意見交換ができた。今まで会議に参加したことのないケアマネジャーからは、各専門職の意見がもらえる場であることの理解が得られた。また委嘱委員との関係性も深まっており、会議の進行や意見交換がよりスムーズになったと感じる。

次年度の方向性として、高齢化に伴い介護サービスの相談や利用も増えているが、包括支援センターとして地域の特徴を把握し幅広く地域資源や介護予防事業に繋がられるよう、情報提供しながら地域全体で支えられるような方向で支援したい。

4 生活支援体制整備

○主催（第二層協議体）

会議・研修名	日時	場所	内容	参加人数
第二層協議体	7月29日	巣子集会所	集いの場について	5名
第二層協議体	7月30日	川前地区コミュニティセンター	買い物支援について	13名

○参加の会議・研修、地域活動への参加状況 ※別紙1 参照

○評価及び次年度の方向性

今年度は2地区で第二層協議体を行い、集いの場と買い物支援について情報交換を行った。集いの場に関しては、空きスペースの活用や柔軟性のある交流の形について考えるきっかけとなった。買い物支援に関しては、企業が地域の声を聞き取りながら実際に試験的支援が2度行われた。求められる支援の形や効果などを共有することができた。

また、定期的に開催されている各地域のサロンでは、介護予防の意識を持ち合いながら活動していた。参加者の減少・固定化がみられる中、独自の工夫がなされ参加者による主体的活動が行われているが、活動の普及に関しては課題であると考えている。

5 認知症総合支援

○主催（認知症サポーター養成講座）

日時	場所	内容	参加人数
5月20日	医療生協会員の自宅	講座（地域住民）	7名
6月21日	いわて生活協同組合盛岡北センター	講座（企業）	5名
7月3日	岩手県立盛岡農業高等学校	講座（人間科学科2年生）	13名
8月27日	一本木小学校	講座（6年生）	14名
11月26日	滝沢東小学校	講座（2年生）	42名
12月12日	岩手県立大学	講座（社会福祉学部学生）	8名

○参加の会議・研修 ※別紙2 参照

○評価及び次年度の方向性

認知症サポーター養成講座については北部地域で6回開催。地域住民宅、小・高等学校、大学、企業に出向き実施。「認知症の特徴を知りイメージが変わった」「関わり方を知ることができた」など感想を頂いた。また企業で実際にあったトラブルについての情報もあり、ネットワークの必要性を共通認識とすることができた。今後も幅広い世代の方々へ新しい認知症観の普及啓発を行うとともに、認知症支援活動（認知症カフェ、スローショッピング、認知症介護家族のつどい、オレンジミーティング等）と連携し、スムーズに支援につながるよう取り組んでいきたい。

6 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

	介護予防支援事業		介護予防ケアマネジメント		計	
	基本	初回	基本	初回	基本	初回
包括	303	9	359	15	662	24
委託	787	30	684	31	1471	61
計	1090	39	1043	46	2133	85

○評価及び次年度の方向性

昨年度から約100件増加しており、特に下半期が増加傾向にあった。介護申請の希望も増えてきていることから、介護サービス利用もそれに伴い増加している状況。要介護認定の相談や申請に適切に対応しながら、介護予防の声掛けや介護予防事業へのつながりも積極的に実施していきたい。

7 その他

○主催（家族介護者教室）

会議・研修名	日時	場所	内容	参加人数
第1回家族介護者教室	6月28日	ケアハウス巣子 機能訓練室	相続と終活について	20名
第2回家族介護者教室	9月27日	葉の木沢山活動センター	排泄のトラブルについて	24名

○その他（会議等）

会議・研修名	日時	場所	内容	参加者名
今が一番館運営推進会議	4月22日 6月24日 8月26日 10月28日 12月23日 2月24日	今が一番館	活動報告・利用者の様子・ 防災訓練・防犯対策について・ 身体拘束廃止について	加藤 菰澤 工藤 田中 鈴木 高橋
まごの手運営推進会議	4月18日 6月20日 8月22日 10月17日 12月19日 2月20日	ケアホームまごの手	運営状況・情報共有	田中 鈴木 加藤 高橋 菰澤 工藤
デイサービス今が一番館 運営推進会議	9月22日 3月23日	今が一番館	活動報告・利用者の様子	高橋 菰澤
にこにこりはぴりデイサービス 巣子るーむ運営推進会議	5月19日 11月21日	にこにこりはぴりデイサービス 巣子るーむ	活動報告・利用者の様子	高橋 工藤
滝沢市内包括との合同定例会議	4月17日 5月16日 6月19日 7月17日 8月18日 9月16日 10月16日 11月17日 12月16日 1月19日 2月17日 3月16日	市役所 市役所 ケアハウス巣子 オンライン 市役所 オンライン 丹内ビル(南包括) オンライン 市役所 市役所 オンライン 市役所	月次報告・総合相談の対応 状況等について	菰澤 高橋 加藤 工藤 田中 鈴木 ※開催場 所により 参加人数 変動有り
岩手医科大学看護学部実習生受入れ	12月15～18日	北部地域、訪問先	地域包括支援センター業務 について	加藤
重層的支援体制整備事業推進会議	7月31日 3月13日	市役所 市役所	事業計画及び経過報告等 経過報告等	加藤 高橋

会議・研修名	日時	場所	内容	参加者名
重層的支援会議	5月21日 7月16日 9月30日 11月28日 1月26日	市役所	ケース検討等	高橋 田中 工藤 高橋 菫澤
第1回高齢者健康福祉協議会	11月12日	市役所	報告	高橋
高齢者虐待コアメンバー会議	5月9日 7月17日 8月25日 1月15日	オンライン	虐待の有無と緊急性の判断 及び今後の対応について	高橋 菫澤 加藤
いきいきライフを語る会	12月5日	市役所	事業報告・グループワーク	菫澤

○その他（研修等）

会議・研修名	日時	場所	内容	参加者名
北部民生児童委員協議会総会	4月10日	北部コミュニティセンター	新年度の挨拶 包括の業務と相談実績	高橋 加藤 菫澤 鈴木
健康状態不明者への家庭訪問打ち合わせ	5月30日	市役所	事業の実施内容について	加藤
市内居宅介護支援事業所共同研修会	6月11日 7月16日 9月10日	市役所 葉の木沢活動センター 篠木多目的センター	事例検討 事例検討 事例検討	工藤 菫澤 田中 鈴木
盛岡地区地域包括支援センター協議会令和7年度総会	6月13日	北部コミュニティセンター	事業報告・事業計画	高橋
介護支援専門員専門Ⅰ・更新研修	6月23～24日 7月22～23日	盛岡市勤労福祉会館	介護支援専門員実務に係る研修	田中
避難者台帳説明会	7月11日	市役所	台帳の使用について説明	工藤
消費者見守り研修	7月14日	県立大学	地域で繋ごう見守り支援の輪	菫澤
岩手県地域包括支援センター等職員総合相談支援研修	7月22日	アイーナ	総合相談支援について	工藤
一人を支える1チーム	4月23日 7月30日 10月22日 1月15日	ふるさと交流館	障がい者の事例について	菫澤 高橋田中 加藤鈴木 菫澤工藤
岩手県重層的支援体制整備事業研修会（兼連絡調整会議）	7月30日	岩手県高校教育会館	連絡調整会議及び実践報告	加藤
地域包括支援センター職員職種別研修「社会福祉士向け」	7月31日	アイーナ	講義・演習	高橋
第一回重層的支援体制整備事業推進会議	7月31日	市役所	実施計画及び経過報告等	加藤
巣子地区夏祭り	8月2日	ケアハウス巣子	巣子地区、ケアハウス巣子 合同夏祭り	高橋 加藤 工藤 田中 鈴木
もらさん尿講座（サロン）	8月19日	ケアハウス巣子	尿失禁の原因と予防	加藤
岩手地区介護支援専門員協議会 八幡平市西根地区居宅介護支援事業所合同研修会	8月20日	八幡平市市役所	誇りを持って仕事する！ケアする人をケアす事例検討の理念と実際	高橋 菫澤
地域包括・在宅介護支援センターフォーラム	9月2日	オンライン	身寄りのない方への支援を考える	高橋 田中
医療介護連携に係る面会	9月10日	オンライン	岩手県立中央病院連携室との意見交換、業務説明	高橋 加藤 菫澤 工藤 田中 鈴木

会議・研修名	日時	場所	内容	参加者名
地域包括支援センター職員職種別研修「保健師向け」	9月29日	アイーナ	地域診断等	加藤
岩手県立大学社会福祉学部第10回学術講演会・県大福祉フォーラム	11月1日	岩手県立大学	認知症 地域社会で支える『共生社会』の実現に向けて	菫澤 田中
地域包括支援センター社会福祉士情報交換会	11月1日	ふれあいランド岩手	グループワーク・情報交換	高橋
介護保険相談・苦情処理業務担当職員研修	11月7日	オンライン	講義	高橋
地域包括支援センター職員キャリア別『リーダー』研修	11月21～22日	マリオス	講義・演習	高橋
成年後見制度利用促進研修	11月26日	オンライン	講義・演習	高橋 菫澤 田中
ケアマネ支援センター巡回相談研修会	11月27日	ふれあいランド岩手	講義	高橋
岩手県権利擁護研修	12月4日	アイーナ	講義	加藤
県立盛岡農業高等学校プロジェクト発表会	12月16日	県立盛岡農業高等学校	聴講・意見交換	鈴木 加藤
岩手県ヤングケアラー支援セミナー	12月25日	アイーナ	講義・グループワーク	加藤
滝沢市議会環境厚生常任委員会意見聴取	1月23日	ケアハウス巣子	議員6名より意見聴取	高橋 加藤
地域包括支援センター職員向け「主任介護支援専門員」研修	2月18日	マリオス	スーパービジョンの構築	菫澤

○評価及び次年度の方向性

今年度は、介護支援専門員実務者研修、地域包括支援センターの業務を行う上で必要な職種別研修等の機会を確保できた。重層的支援会議や一人を支える1チームの事例検討会にも各職員が参加し、多職種との交流・連携を深め学ぶことが出来た。次年度も職員全員が包括支援センター職員としてのスキルアップを目指すため、地域包括支援センター初年者研修、介護支援専門員研修会、主任介護支援専門員研修会等への参加を予定している。

地域密着型事業所の運営推進会議へも毎回参加し、各事業所の活動や事業内容等の把握と情報共有を行うことができた。

また、毎月の市内包括支援センターとの合同会議により、事業内容の報告と確認、困難事例の情報共有、必要な研修・会議についても助言をいただきながら業務を進めることができた。

8 総評

総合相談に対応していく中で、キーパーソンの不在や、疾病や障がい、距離的なものなど何らかの理由で家族の対応力の弱さや対応の難しさを感じるものが増えてきており、それは、地域ケア会議においても、地域課題として挙がってきているものでもあった。この点については、一つの包括だけではなく、行政や他圏域の包括、他機関と今後も継続した検討や対応が必要であると感じており、上記を含む複合的な課題については、引き続き重層的支援体制整備事業との連携を図っていきたい。

介護予防支援および介護予防ケアマネジメントについては、件数の増加が続いていることから、適切な介護申請や介護サービスの説明を実施しながらも、要介護・要支援状態になる前の介護予防の取り組みや事業へつなぐ働きかけも強化していく必要があると感じている。その一環として、生活支援体制整備事業における地域活動の活発化や新しい取り組みの創設や、認知症総合支援における認知症サポーター養成講座や認知症カフェ、その他認知症関連事業に力を入れる事により、より住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを推進していきたい。

令和7年度収支決算内訳

収入の部				
項目	予算額 (A)	決算額(B)	差異(A-B)	説明
委託料	¥ 28,000,000	¥ 28,000,000	¥ -	包括委託料 約2,334千円× 1 2 か月
事業収入	¥ 8,752,000	¥ 9,933,600	¥ -1,181,600	介護予防計画件数 (2133件)
その他	¥ -	¥ 21,238	¥ -21,238	利息収入7,238円 雑収入14,000円 (いきいきライフ謝礼、受入れ研修費)
合計	¥ 36,752,000	¥ 37,954,838	¥ -1,202,838	

支出の部					
項目		予算額(A)	決算額(B)	(A)-(B)	説明
人件費		¥ 26,316,000	¥ 26,431,969	¥ -115,969	主任ケアマネ1名・保健師1名・社会福祉士1名・介護支援専門員2名・認知症地域支援推進員兼生活支援コーディネーター 1 名
事業費	消耗品費	¥ 7,000	¥ -	¥ 7,000	
	車両費	¥ 156,000	¥ 246,086	¥ -90,086	車両燃料費他
	会議費	¥ 94,000	¥ 76,005	¥ 17,995	謝金、会議室借用
	その他	¥ 1,000	¥ 4,940	¥ -3,940	ねむねむの会、時計屋カフェ、情報開示
事務費	保険料	¥ 235,000	¥ 203,220	¥ 31,780	損害保険料(自動車)
	事務消耗品、印刷製本費	¥ 475,000	¥ 278,372	¥ 196,628	文具・事務用品・消毒液・マスク等
	水道光熱費等	¥ 750,000	¥ 708,336	¥ 41,664	水道光熱費・燃料費
	通信費	¥ 820,000	¥ 577,627	¥ 242,373	電話代・はがき封筒代・切手代
	会議、研修費	¥ 65,000	¥ 45,150	¥ 19,850	講習会参加費
	委託費	¥ 7,152,000	¥ 7,425,700	¥ -273,700	介護予防ケアマネジメント業務委託料 清掃委託費
	使用料・賃借料	¥ 320,000	¥ 1,553,520	¥ -1,233,520	複合機・リース料（車、電話設備）
	その他	¥ 361,000	¥ 382,811	¥ -21,811	福利厚生費（124,672円） 租税公課（1,200円） 手数料（73,560円） 保守料（133,379円） 諸会費（50,000円）
施設整備等		¥ -		¥ -	
				¥ -	
合計		¥ 36,752,000	¥ 37,933,736	¥ -1,181,736	
収支差額		¥ -	¥ 21,102	¥ -21,102	

令和7年度 滝沢南地域包括支援センター事業実績報告

1 総合相談支援、権利擁護

○受付形態（延件数 件）

来所	60
電話	459
訪問	507
FAX	
メール	
その他	12
合計	1038

○相談者（延人数 人）

本人	523
家族・親族	245
地域住民	19
ケアマネジャー	88
民生委員	19
警察	8
行政職員	19
医療機関	45
社会福祉協議会	12
介護サービス事業所	19
地域包括支援センター	22
その他	19
合計	1038

○受付分類（重複あり 延件数 件）

介護保険サービス	283
医療相談	41
うつ、ひきこもり等精神相談	42
認知症相談	83
虐待相談	9
権利擁護	20
介護予防、保健相談	2
成年後見制度相談	5
生活支援	95
ケアマネ支援 ※1	37
実態把握 ※2	433
住宅改修	0
福祉用具相談	0
救急キット	1
緊急通報装置	1
免許返納要望書	1
その他	179
合計	1232

※圏域外相談

電話：6件（延べ）

相談者：家族・親族2件、医療機関1件、包括1件

受付分類：生活支援1件、医療相談1件、

介護保険サービス2件

○消費者被害への対応 306世帯 385人（安全安心協力センター「声かけ活動」報告件数）

○評価及び次年度の方向性

総合相談件数について、6年度と比較すると100件弱増加している（6年度948件、7年度1038件）。受付形態の内訳として、電話の相談が6年度377件であったものが、7年度では459件となっており、相談件数の増加理由が主に電話によるものであり、南包括が相談先として認知され始めたことの表れではないかと思われる。

受付分類については、生活支援が6年度42件に対し、7年度が95件と倍増しており、生活に何らかの支障をきたし、支援を求めている方が増えているのではないかと推測される。

また、ケアマネ支援について6年度10件だったものが、7年度37件となっており、ケアマネさんの相談先としても認知され始めてきたものと思われる。

救急キットの配布については、6年度、7年度とも1件に留まっており、実態把握の際に必要性をお伝えし、登録者増に努めていきたい。

2 包括的・継続的ケアマネジメント、地域ケア会議

○主催

会議・研修名	日時	場所	内 容	参加者
第1回地域ケア個別会議Ⅰ	8月20日	多目的研修センター	介護サービスや通院先医療機関等についてこだわりが強く、何度も変更したり苦情を言ったりして、支援体制が安定しない方の事例	田上、高橋、井川、吉田
第2回地域ケア個別会議Ⅰ	12月17日	多目的研修センター	介護認定区分が要介護から要支援に変更になったことで、気に入っていたサービス利用を休止することになったため活動量が減り、活気が乏しくなった方の事例	田上、高橋、田口、井川
第1回地域ケア個別会議Ⅲ	4月7日	小規模多機能型居宅介護事業所おはな	対象者とその世帯が安定した生活を送れるよう関係者間の情報共有を行い、支援方針を統一する。	田上
第2回地域ケア個別会議Ⅲ	9月18日	上山集会所	対象者とその世帯が安定した生活を送れるよう関係者間の情報共有を行い、支援方針を統一する。	田上
第1回地域ネットワーク会議	9月10日	多目的研修センター	民生児童委員のお仕事紹介、GW	田上、高橋、田口、井川
第2回地域ネットワーク会議	1月28日	多目的研修センター	成年後見制度について	井川、高橋
滝沢市南部地域介護支援事業所等情報交換会	2月3日	多目的研修センター	事業所紹介等	田上、高橋、田口、井川

○地域ケア会議において抽出された地域課題

第1回地域ケア個別会議Ⅰにおいて、自立支援面の課題としては「近隣コミュニティへの参加に抵抗感がある方向けの新たな居場所づくり」が挙げられた。また、「インフォーマルサービスのあり方（移動手段）」に関し、共助組織による移動支援利用に関する、利用者側のモラルや交通事故等への対策といった課題も挙げられた。第2回地域ケア個別会議Ⅰでは、要介護度の改善により利用できる介護サービスが減少した際の「インフォーマルサービスへの移行」や「生きがいづくり」が課題として抽出された。また2度の地域ケア会議Ⅲの対象はそれぞれ、共依存の高齢母子世帯、夫婦世帯であったが、いずれも地域や介護保険によるサービス支援と繋がりがながらも、家族の価値観や認知症による判断不足により、それら支援が効果的に機能していないことが共通していた。課題としては「介護力不足世帯」「介護サービス支援拒否」「認知症の方の居場所づくり」「ボランティアによる支援体制」「地域の支援と守秘義務」が挙げられた。

○評価及び次年度の方向性

地域ケア個別会議については、Ⅰの第１回の反省として「自立支援型としてのテーマ選定」と「進行の形式遵守」について課題が残ったため、第２回開催時にはそれらを踏まえて準備、進行した。その結果、時間通りに進行でき、委員の皆様から様々な意見を得ることができた。個別課題解決を目的としているⅢは、２ケースとも地域住民を交え、支援者それぞれが異なっていた支援の方向性を整理することを目的として開催した。２ケースとも会議後には支援者間の連携が取れるようになり、顔の見える関係構築の効果を実感した。

地域ネットワーク会議については、６年度は２回とも座学のための形式で実施したが、参加者から「参加者同士でコミュニケーションを取りたい」との希望があったため、７年度は１回のみではあるが、講座のほかにグループワークを行い、意見交換の場を設けた。参加者からは「このような機会を作ってもらって有難い」「地域住民の方から率直な意見を聞くことができた」といった感想をいただくことができた。８年度も２回のうちどちらかで、グループワークを行うよう準備したい。

○参加

会議・研修名	日時	場所	内 容	参加者名
滝沢市内居宅介護支援事業所 共同研修会	６月１１日	市役所	事例検討	吉田
	７月１６日	市役所	事例検討	吉田
	９月１０日	多目的研修センター	SCの役割について	田上、田口、 高橋、吉田
滝沢市地域ネットワーク会議	４月２３日	ビッグルーフ	行政説明、事業及び 事業所紹介等	井川、高橋、 吉田
	１０月２２日	市役所	BCP、ゲートキーパー 研修	井川
仕事力アップセミナー	５月２１日	市役所	医療介護連携	井川、田上、高橋
	７月２３日	市役所	意思決定支援	井川、田上
	９月２９日	ふるさと交流館	「わたしの生き方ノ ート」書き方講座	吉田
	１１月５日	市役所	前頭側頭型認知症	井川、高橋
	２月４日	市役所	「本人ミーティング」 の活動について	井川
	３月１１日	市役所	事例検討	井川、田上、高橋
介護予防支援事業所連絡会	４月１６日	市役所	予防事業委託先事業所 に対する報告方法等の 周知及び依頼	田上
介護予防支援・ケアマネジメン ト研修会	４月３０日	市役所	介護予防支援・ケアマ ネジメントの進め方	田上、吉田
令和７年度地域ケア会議 (介護予防プラン研修会)	６月１０日	盛岡市中央卸売 市場	介護予防プラン作成 の視点等	田上、高橋
第１回中部圏域地域ケア会議Ⅰ	７月２３日	市役所	事例検討	田上

第2回北部圏域地域ケア会議Ⅰ	10月15日	葉の木沢山活動センター	事例検討	田上
滝沢市地域ケア会議	11月5日	市役所	事例検討	田上
第2回北部地域ネットワーク会議	11月19日	葉の木沢山活動センター	「わたしの生き方ノート」について	井川 学生2名
地域ケア推進会議	1月21日	市役所	地域ケア会議実績、滝沢市の課題等	井川
滝沢市内居宅介護支援事業所情報交換会	3月5日	市民福祉センター	ケア会議への主任CMの参加について	田上

3 生活支援体制整備

○主催（第二層協議体）

会議・研修名	日時	場所	内 容	参加人数
第二層協議体	4月23日	多目的研修センター	孤食・低栄養について（昼食作り）	6名
	5月9日	畑（鶴飼中央）	「社会参加の場」作り	6名
	5月28日	多目的研修センター	「昼食作りの会」について	7名
	12月12日	清雲院	ヨガ教室について	5名

○評価及び次年度の方向性

6年度は中学校区を1つの単位として協議体を開催したが、7年度は開催テーマに応じ、最小限度必要な方に集まっていたため、より実質的な会議を実施することができた。7年度実施した協議体は実質3つだが、その結果として、南部地区で新たに3つの「会」が始まることとなった。各会が円滑に開催されるよう適宜サポートを行っていきたい。

また、南部圏域では、8年度いっばいで姥屋敷小中学校が閉校となってしまうため、姥屋敷地区での新たなコミュニティの創出の必要性を感じており、自治会長、民生委員等とコミュニケーションを取りながら、関わっていかねばと考えている。

4 認知症総合支援

○主催（認知症サポーター養成講座）

	日時	場所（対象者）	内 容	参加人数
第1回	5月14日	放課後等デイサービス飛行船（職員と近隣住民）	認知症について	8名
第2回	6月3日	大釜コミュニティセンター（大釜サロン）		18名
第3回	7月24日	滝沢市地域包括支援センター（個人）		1名
第4回	9月2日	鶴飼小学校（福祉委員会）		23名
第5回	9月25日	ビッグルーフ（滝沢郵便局）		8名
第6回	3月10日	けやきの平集会所（元村西サロン）		12名

○評価及び次年度の方向性

生活支援コーディネーターの働きかけにより、放課後等デイサービス、サロンで開催することが出来た。開催については基本的に開催希望者からの「待ち」であるため、より多くの方々に働きかけを行い、認知症について関心をもっていただき「自分達の地区や会でも開催してみたい」と思っていたけるよう、8年度は職員が協力しながら周知活動を行っていききたい。

5 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

	介護予防支援事業		介護予防ケアマネジメント		計	
	基本	初回	基本	初回	基本	初回
包括	361	7	219	10	580	17
委託	1120	45	360	12	1480	57
計	1481	52	579	22	2060	74

○評価及び次年度の方向性

6年度は年度当初に市包括さんから引継いだ方をメインにマネジメントを行ってきたが、7年度は「直営」新規の方も増えてきたところである。

また、介護度がついたものの介護保険サービスを利用していない方へのアプローチを6年度よりも積極的に行ったが、全ての方には出来なかったため、8年度も引き続き、そのような方へのアプローチを行っていききたい。

6 その他

○主催（家族介護者教室）

会議・研修名	日時	場所	内 容	参加者名
第1回家族介護者教室	6月25日	多目的研修センター	口腔ケアのポイント	高橋、田口、吉田、井川
第2回家族介護者教室	12月3日	多目的研修センター	高齢者向け住まいの種類と選び方	井川、田口、吉田

○評価及び次年度の方向性

第1回の口腔ケアについては、参加者から「自分では分からないことを聞くことができた」「この内容をもっと広めてほしい」等好評であったが、講座周知のためにサロンでお話した際「歯医者には行っているし」と強く興味を引くことができず、参加者6名と少なかった。

第2回の「高齢者の住まい」については、当包括への相談内容としても多いもので、興味のある方が多かったようで、18名の参加があった。「施設の種類や選び方が理解できた」等好意的な感想が多数を占めたが、興味があるからこそ「もっと詳しい内容を知りたかった」との意見もあった。

地域住民が関心を持ってくさるような講座を開催するとともに、住民の方に目に留まるような周知方法についても引き続き工夫していききたい。

○その他（会議等）

会議・研修名	日時	場所	内 容	参加者名
グループホーム えがおの花大釜 運営推進会議	5月8日 9月27日 11月6日 1月15日 3月5日	大釜コミセン	運営状況、活動報告、利用者の様子、ヒヤリ・ハット	田上 田上 田上 井川 田上
小規模多機能型居宅 介護事業所おはな 運営推進会議	5月30日 7月25日 9月26日 11月28日 1月30日 3月27日	おはな	運営状況、活動報告、利用者の様子、ヒヤリ・ハット	井川
複合型福祉施設 ベルヴェーレの里 運営推進会議	5月30日 7月25日 9月26日 11月21日 1月30日 3月27日	ベルヴェーレの里	運営状況、活動報告、利用者の様子、ヒヤリ・ハット	高橋
滝沢市内地域包括 支援センター定例会	4月17日 5月16日 6月19日 7月17日 8月18日 9月16日 10月16日 11月17日 12月16日 1月19日 2月17日 3月16日	市役所 市役所 ケアハウス巣子 リモート 市役所 リモート 丹内ビル リモート 市役所 リモート リモート 市役所	月次報告等	井川 田上 高橋
滝沢市重層的支援 会議	5月21日 7月16日 9月30日	市役所 市役所 分庁舎	事例検討等 事例検討等 事例検討等	井川、田上 田上 田上
滝沢市重層的支援 体制整備事業推進 会議	7月31日 3月13日	市役所 分庁舎	「居場所」について 支援会議実施状況等	井川
国保連情報交換会	8月19日	岩手県国保会館	介護保険相談・苦情の概況について等	井川

○その他（研修等）

1人を支える1チーム	4月17日 10月22日 1月15日	ビッグルーフ 滝沢市総合体育館 ふるさと交流館	事例検討等	田上 高橋
------------	--------------------------	-------------------------------	-------	----------

岩手県地域包括支援センター等職員初任者研修	5月19～20日	アイーナ	地域包括支援センターの役割等	吉田
岩手県生活支援コーディネーター養成研修会	6月30日	アイーナ	SCの役割と活動の理解、実践報告等	田口
避難行動要支援者台帳登録説明会	7月11日	市役所	避難行動要支援者について等	井川
岩手県地域包括支援センター等職員相談研修	7月22日	アイーナ	総合相談について等	高橋
市町村職員等在宅医療・介護連携研修	7月24日	二戸パークホテル	多職種連携	田上
主任ケアマネジャー更新研修	7月28日～29日	盛岡市勤労福祉会館	事例検討等	田上
岩手県介護予防事業に参画するリハビリ職員育成研修会	8月2日	マリオス	リハ職の役割、重要性について等	高橋
岩手県生活支援体制整備事業（移動支援）研修	9月8日	マリオス	移動支援について	井川
介護保険について	9月13日	上山集会所	介護保険の説明等	田上 井川
感染症対策研修	9月20日	岩手県看護研修センター	最新の感染対策等	高橋
地域包括支援センター職員職種別研修「保健師向け研修」	9月29日	アイーナ	「地域診断」等について	高橋
身体拘束と虐待防止について	10月29日	オンライン	身体拘束3原則について等	包括職員
障がい理解促進啓発事業友野剛行氏講演会	10月31日	ふるさと交流館	講演会、当事者家族等によるパネルディスカッション	田上
福祉の未来を考える	10月31日	ホテルメトロポリタン	基調講演、3名のシンポジストによるシンポジウム	井川
岩手県高齢者権利擁護地域研修	12月4日	アイーナ	成年後見制度等の権利擁護支援に関する国の動向について 他	井川
いきいきライフを語る会	12月5日	市役所	令和6年度介護保険事業等の報告、グループワーク 他	井川
令和7年度盛岡地区・岩手地区介護支援専門員協議会定例研修会	12月22日	ビッグルーフ	シャドーワークについて考える	吉田
岩手県ヤングケアラー支援セミナー	12月25日	アイーナ	現場で役立つ！ヤングケアラーの気づき方とつなぎ方	吉田

現地調査及び意見聴取	1月16日	丹内ビル	滝沢市議会環境厚生常任委員から 意見聴取	井川 田上 高橋
刑事司法の現状と 支援に携わる人に 求められること	2月13日	オンライン	講義	井川
主任介護支援専門員 向け研修	2月18日	マリオス	事例検討等	田上

○評価及び次年度の方向性

研修については、センター業務を行う上で必要な研修を各職員が受講できたと思われる。

8年度も引き続き、職員のスケジュールを確認しながら、バランスよく受講機会を得られるよう図っていく。

また、地域密着型事業所の運営推進会議参加により、近隣事業所の状況確認及び意見交換を行うことができた。8年度も同様に事業所及び関係者と、より近い関係を築いていきたい。

7 総評

開設2年目となった令和7年度は、無我夢中のまま終えた初年度よりも落ち着いて業務を遂行できるのではないかと予測を立てていたが、スタッフの入れ替わりやまだまだ業務に不慣れであったことなどから、終始右往左往していた感が否めない。

各事業については「評価及び次年度の方向性」で述べた通りであるが、南部地区住民の方々に、南包括のことを知っていただいているなという実感が少しずつではあるが出てきたところであり、8年度も引き続き広報活動に努めていく。

初年度に続き、市包括さん、松実会包括さんからは様々なご支援、ご協力をいただき感謝するばかりである。

8年度は委託最終年度となるため、より良い結果を残せるよう職員一同気を引き締め直して、全ての事業に取り組んでいきたい。

令和7年度 包括的支援事業業務委託収支決算書

事業区分	科目	予算 (A)	決算 (B)	差額 (B) - (A)
収入				
包括的支援事業	受託金	包括的支援事業委託料 23,450,000 円	23,450,000 円	0 円
		包括的支援事業 (社会保障充実分) 4,550,000 円	4,550,000 円	0 円
	小計	28,000,000 円	28,000,000 円	0 円
介護予防サービス 計画費及び介護予 防ケアマネジメン ト費を含む	介護報酬	9,016,800 円	9,533,880 円	517,080 円
収入計		37,016,800 円	37,533,880 円	517,080 円
支出				
包括的支援事業				
給与費	職員給与費	15,614,000 円	14,780,000 円	△ 834,000 円
	法定福利費	2,080,000 円	2,157,000 円	77,000 円
諸謝金		480,000 円	100,000 円	△ 380,000 円
旅費交通費		220,000 円	5,000 円	△ 215,000 円
需用費	消耗品費	1,470,200 円	1,470,200 円	0 円
	印刷製本費	350,000 円	350,000 円	0 円
	会議費	30,000 円	30,000 円	0 円
役務費	通信運搬費	1,148,400 円	1,148,400 円	0 円
	雑役務費	100,000 円	100,000 円	0 円
	車両費	960,000 円	960,000 円	0 円
使用料及び賃借料		4,659,800 円	4,659,800 円	0 円
包括的支援事業 (社会保障充実分)				
給与費	職員給与費	2,907,000 円	2,990,000 円	83,000 円
	法定福利費	750,000 円	464,000 円	△ 286,000 円
諸謝金		95,000 円	0 円	△ 95,000 円
需用費	印刷製本費	100,000 円	100,000 円	0 円
	会議費	18,000 円	18,000 円	0 円
役務費		100,000 円	100,000 円	0 円
使用料及び賃借料		100,000 円	100,000 円	0 円
委託費				
業務委託費		5,834,400 円	6,904,400 円	1,070,000 円
支出計		37,016,800 円	36,436,800 円	△ 580,000 円
収支差額		0 円	1,097,080 円	1,097,080 円

1 委託型地域包括支援センターの人員配置状況

契約上の配置職種		契約上の配置数	松実会地域包括支援センター		滝沢南地域包括支援センター	
			R 6 実績	R 7 実績	R 6 実績	R 7 実績
3 職種	保健師	1 名配置	1 名配置	1 名配置	1 名配置	1 名配置
	社会福祉士	1 名配置	1 名配置	1 名配置	1 名配置	1 名配置
	主任介護支援専門員	1 名配置	1 名配置	1 名配置	1 名配置	1 名配置
介護支援専門員等		1 名配置	介護支援専門員 2 名配置	介護支援専門員 2 名配置	・介護支援専門員 1 名配置→R6年10月末で退職 ・保健師 1 名配置→R7年1月末で退職	介護支援専門員 1 名配置
生活支援コーディネーター兼認知症地域支援推進員		1 名配置	1 名配置	1 名配置	1 名配置	1 名配置
合計		5 名配置	6 名配置	6 名配置	年度当初 6 名配置→R6年11月～R7年1月は 5 名配置→R7年2～3月は 4 名配置 (契約に従い2か月間1名分の人件費を減額)	5 名配置
【評価】 地域包括支援センターに配置すべき3職種は、欠けることなく配置されていた。「介護支援専門員等」にあたる職員について、滝沢南地域包括支援センターにおいて2か月間人員が不足したため、契約に従って委託料を減額することとなったが、受託事業所内での業務・職員調整により、業務に支障は生じなかった。						

2 地域包括支援センター各業務の内容、計画値・実績値（契約上は実施事業の名称を標記しており、事業の詳細や計画値は、打ち合わせの際に目安として示したもの）

		内 容
1	ア	①第一号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）
地域支援事業	日常生活介護・生活支援・予防支援	事業対象者（基本チェックリストに該当する者）及び要支援認定者に対して、訪問型サービス、通所型サービス等が効果的に提供されるよう必要な支援を行う。（ケアプラン作成等のケアマネジメント業務） ※2 指定介護予防支援事業と一体的に実施

		内 容						
1 地域支援事業	イ 包括的支援事業	①総合相談支援事業						
		高齢者等に関するさまざまな相談を受け、適切な機関や制度、サービスに繋ぎ、必要な支援を行う。また、地域のネットワークや訪問等により、支援が必要な高齢者の実態把握に努め、関係機関が相互に連携し、早期に継続的・包括的な支援ができるよう体制の構築を図ります。						
		主な業務	内容	計画値	松実会地域包括支援センター		滝沢南地域包括支援センター	
					R 6 実績	R 7 実績	R 6 実績	R 7 実績
		総合相談支援	・総合的な相談対応、相談受付票作成 ・盛岡西警察署からの免許返納要望書提出者への訪問等	1,000件/年 (R 5 時点)	1,156件/年	1,119件/年	948件/年	1,038件/年
		実態把握	高齢者宅訪問、記録作成	35件/月程度	38.0件／月平均	36.3件／月平均	35.0件／月平均	36.1件／月平均
		②権利擁護事業						
		関係する機関と連携して、高齢者の権利と財産を守るための支援や、高齢者虐待防止の取り組みを行う。 ※施設等への立入調査は市の業務（状況により協力）						
		主な業務	内容	計画値	松実会地域包括支援センター		滝沢南地域包括支援センター	
					R 6 実績	R 7 実績	R 6 実績	R 7 実績
		高齢者虐待対応	事実確認、市や警察との連携対応	随時	随時	随時	随時	随時
			コアメンバー会議	参加	参加 (6回)	参加 (4回)	参加 (3回)	参加 (4回)
		消費者被害への対応	盛岡西警察署と協力し、訪問世帯へのチラシの配布と声掛け。毎月実施件数報告	随時	随時 (309人声掛け)	随時 (255人声掛け)	随時 (386人声掛け)	随時 (385人声掛け)
		成年後見制度等の活用促進	市、盛岡広域成年後見センターとの連携や社会福祉協議会事業利用の勧奨・手続きの支援	随時	随時 (相談7人)	随時 (相談10人)	随時 (相談2人)	随時 (相談5人)
		③包括的・継続的ケアマネジメント支援事業						
		高齢者の自立を支援するケアマネジメントの支援として、圏域内の介護支援専門員（ケアマネジャー）への日常的な相談・助言等の支援を行う。また、介護関係者の資質向上とネットワーク構築を行う。 ※会議等の名称や内容・回数は、業務推進方針に沿ったものであれば地域の特性にあわせて変更可能。						
		主な業務	内容	計画値	松実会地域包括支援センター		滝沢南地域包括支援センター	
					R 6 実績	R 7 実績	R 6 実績	R 7 実績
		地域ネットワーク会議	地域の介護関係者を対象とし、ネットワーク構築と資質向上を目的に開催 (市主催全域対象)	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回
		地域ネットワーク会議		2 回（参加）	2 回（参加）	2 回（参加）	3 回（参加）	2 回（参加）
		ケアマネ情報交換会	圏域内のケアマネ後方支援として開催	1 回	1 回	1 回	0 回	1 回
		市内ケアマネ相談対応	個別相談対応	随時	随時 (ケアマネ支援延べ10件)	随時 (ケアマネ支援延べ10件)	随時 (ケアマネ支援延べ10件)	随時 (ケアマネ支援延べ37件)

		内 容						
1 地域支援事業	イ 包括的支援事業	④多職種協働による地域包括支援ネットワーク						
		介護サービスに限らず、地域の保健・福祉・医療サービスやボランティア活動、インフォーマルサービスなどの様々な社会資源が有機的に連携することができる環境整備を行う。（例えば地域ネットワーク会議、地域ケア会議、生活支援体制整備事業と一体的に実施） ※介護関係者のみならず、警察や民生児童委員等も含む						
		⑤地域ケア会議推進事業						
		高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備を行うため、5つの機能である「個別課題の解決」「地域包括支援ネットワーク構築」「地域課題の発見」「地域づくり・資源開発」「政策の形成」の役割を果たす会議を開催します。						
		主な業務	内容	計画値	松実会地域包括支援センター		滝沢南地域包括支援センター	
					R 6 実績	R 7 実績	R 6 実績	R 7 実績
	ア) 推進会議	地域課題に関する資源開発、政策形成検討の場 ＊構成員は医師やケアマネ・社協・民生児童委員等	市主催会議に参加 （1回）	市主催会議に参加 （1回）	市主催会議に参加 （1回）	市主催会議に参加 （1回）	市主催会議に参加 （1回）	
	イ) 個別会議Ⅰ	事例検討等を通して個別課題を解決し、地域課題の発見へとつなげる。 ＊構成員は医師やケアマネ・社協・薬剤師・歯科衛生士等	2回	2回	2回	2回	2回	
	ウ) 個別会議Ⅱ	事例検討や研修会（多職種ネットワーク構築の場） ＊多職種自由参加	6回（参加）	6回（参加）	6回（参加）	6回（参加）	6回（参加）	
	エ) 個別会議Ⅲ	支援困難ケース会議　＊関係者が随時参集	随時	随時 （実績なし）	随時 （実績なし）	随時 （1回）	随時 （2回）	
	ウ 包括的支援事業（社会保障充実分）	①生活支援体制整備事業						
		（第2層コーディネーターの配置、地域資源開発、協議体や普及啓発講演会の開催） 住み慣れた地域で在宅生活を継続していくために必要となる、多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、生活支援コーディネーターを配置し、協議体と連携を図りながら地域における通いの場や生活支援サービスの情報収集、開発の検討を行う。						
主な業務		内容	計画値	松実会地域包括支援センター		滝沢南地域包括支援センター		
				R 6 実績	R 7 実績	R 6 実績	R 7 実績	
生活支援コーディネーターの配置		第2層における活動を行う （認知症地域支援推進員兼務）	1名	1名	1名	1名	1名	
第2層協議体開催		中学校区ごとの話し合い（R 7は中学校区によらず開催）	2回	3回	2回	2回	4回	
地域支え合い連絡会 （第1層協議体）		地域における通いの場や生活支援サービスの情報収集、地域資源開発の検討	3回（参加）	2回（参加）	4回（参加）	2回（参加）	4回（参加）	
生活支援コーディネーター連絡会		各地域の情報共有	6回（参加）	6回（参加）	11回（参加）	6回（参加）	11回（参加）	
担い手ほっこの会の活動		活動の後方支援	参加・協力	参加・協力	参加・協力	参加・協力	参加・協力	
地域資源ガイドの普及		普及啓発・更新	協力	協力	協力	協力	協力	

		内 容						
1 地域支援事業	ウ 包括的支援事業（社会保障充実分）	②認知症総合支援事業						
		認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、医療・介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークの強化をし、地域における支援体制の構築を図る。 1 認知症地域支援推進員の配置 2 認知症サポーター養成講座 3 地域密着型サービス事業所等での相談窓口設置 4 認知症ケアに携わる多職種協働研修及び事例検討 5 認知症初期集中支援チーム 6 市内認知症カフェ及び「チームオレンジたきざわ」活動支援						
		主な業務	内容	計画値	松実会地域包括支援センター		滝沢南地域包括支援センター	
					R 6 実績	R 7 実績	R 6 実績	R 7 実績
		認知症地域支援推進員の配置	（生活支援コーディネーター兼務）	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
		認知症サポーター養成講座	講座開催	6 回	6 回	6 回	6 回	6 回
		認知症サポーターステップアップ講座	講座開催に係る協力	協力	協力	協力	協力	協力
		チームオレンジたきざわ事務局機能	リスト管理、通信発行、学習会や打合せ会開催	協力	協力	協力	協力	協力
		認知症初期集中支援	伝達講習受講	1 回	1 名参加	対象者なし	2 名参加	対象者なし
			チーム員活動（訪問、チーム員会議）	随時	随時(1件対応)	随時(前年からの継続1件)	随時(1件対応)	随時(前年からの継続1件)
			検討委員会	1 回（参加）	1 回（参加）	1 回（参加）	1 回（参加）	1 回（参加）
		市内認知症カフェ	カフェ参加、開催・運営に係る後方支援	随時（参加）	認知症カフェ3か所への協力	認知症カフェ3か所への協力	認知症カフェ1か所への協力	認知症カフェ1か所への協力
		まちかど相談室	打合せ会	1 回（参加）	1 回（参加）	1 回（参加）	1 回（参加）	※用務により欠席
		ネットワーク形成に係る活動	・やまぼうしネットワーク（医師会） ・認知症になっても住みよいまちづくりPJ 等	参加・協力	スローショッピング協力	スローショッピング協力	スローショッピング協力	スローショッピング協力
		アルツハイマー月間の普及啓発	認知症に関する啓発活動	協力	オレンジフェスタ2025協力	オレンジフェスタ2026協力	オレンジフェスタ2025協力	オレンジフェスタ2026協力
		エ 任意事業	①家族介護支援事業					
	家族介護者の負担軽減を目的とした家族介護者教室の開催							
主な業務	内容		計画値	松実会地域包括支援センター		滝沢南地域包括支援センター		
				R 6 実績	R 7 実績	R 6 実績	R 7 実績	
	家族介護者教室	介護者を対象とした、家族介護者教室の開催	2 回	2 回	2 回	2 回	2 回	

	内 容					
2 指定介護 事業 予防	指定介護予防支援事業					
	予防給付の対象となる要支援認定者のケアマネジメント業務を行う。 ※１－ア① 第一号介護予防支援事業と一体的に実施。					
	主な業務	計画値	松実会地域包括支援センター		滝沢南地域包括支援センター	
			R 6 実績	R 7 実績	R 6 実績	R 7 実績
	介護予防支援事業所設置	1 か所（併設）	1 か所（併設）	1 か所（併設）	1 か所（併設）	1 か所（併設）
ケアマネジメント業務	月170～180件程度 (引継ぎ時点)	平均169.8件/月	平均177.8件/月	平均161.4件/月	平均171.7件/月	
3 その他市業務等 ※協力や参加・周知を想定	①一般介護予防事業					
	高齢者の閉じこもり予防を目的とした住民主体の通いの場（いきいきサロン）の開設及びフレイル予防を目的とした講話や運動などの教室を実施する（介護予防教室、運動機能向上教室等）。	松実会地域包括支援センター		滝沢南地域包括支援センター		
		R 6 実績	R 7 実績	R 6 実績	R 7 実績	
		生活支援コーディネーターが、定期的に地域の通いの場（いきいきサロン等）を訪問し、情報提供や高齢者のニーズを把握。				
	②介護サービス相談員派遣事業					
	相談員を介護施設や介護サービス事業所に派遣し、第3者の視点で利用者等の相談等を通し、施設との橋渡しをすることで、苦情等の未然防止、利用者のQOLの向上に資する。					
	③成年後見制度利用支援事業					
	（市長申立て支援等）					
	④高齢者虐待防止法による立ち入り調査および警察署長への援助要請					
	※委託型センターは市町村権限発動の必要性について、関わった高齢者について市に提案を行い、市と連携・協働して支援を行う。	松実会地域包括支援センター		滝沢南地域包括支援センター		
		R 6 実績	R 7 実績	R 6 実績	R 7 実績	
		相談延べ23件	相談延べ18件	相談延べ10件	相談延べ9件	
	⑤救急医療情報キット配付事業					
	緊急時に必要な医療情報を保管する救急医療情報キットを配付することにより、救急時の適切な医療活動に役立てる。					
	⑥高齢者保健福祉協議会					
	市の高齢者の保健福祉に関する計画の進捗や推進及び地域包括支援センターの運営等に関し意見を求め、調査審議させるため、市長の付属機関として設置。年2～3回の会議開催。 ※委託型センターは、会議への出席。					
	⑦在宅医療・介護連携推進事業					
（医療介護連携に係る相談支援、研修会等開催） ※委託型センターは、研修会・会議への参加、個別の医療介護連携の支援						
⑧地域密着型サービス事業所が開催する運営推進会議						
圏域の地域密着型サービス事業所の運営推進会議へ参加（必要時）						

	内 容
	【評価】 ほぼすべての業務において、計画値を達成している。滝沢南地域包括支援センターにおいて人員不足の影響により、令和6年度にケアマネ情報交換会の開催が困難であったが、圏域内のケアマネ支援でカバーしており、令和7年度は開催に至っている。両委託型包括ともに市直営地域包括支援センターと密に連携が取れており、また、地域の介護保険事業所や民生児童委員と積極的に連携を図っており、運営状況は良好と判断する。